

受付番号

2022-10

許可番号

大歯医倫 第 111220-0 号

研究課題名

血管迷走神経反射既往患者の精神鎮静法に関する検討

研究責任者

新井 由起子

申請者

新井 由起子

研究終了日

2024 年 3 月 31 日

所属

歯科麻酔学講座

所属

歯科麻酔学講座

職名

助教

職名

助教

申請の概要

血管迷走神経反射（VVR）は、歯科診療で最も頻度が高い全身的偶発症である。VVR の主要徴候は一時的な血圧低下であり患者は不快感を訴える。VVR は痛み・緊張・不安などのストレスが原因となることが多い。当科では、VVR 既往患者に精神鎮静法を施行しており、局所麻酔時の VVR 発現は抑制できることが多いが、皮膚への穿刺前や抜針時に VVR を発現することがある。このような患者には亜酸化窒素吸入鎮静法の併用を対策としているが、VVR 発現を完全に抑えることはできていないのが現状である。また、日本歯科麻酔学会の静脈内鎮静法ガイドラインには、VVR に対する明確な対策や対応についての記載がない。そこで今回、当科で精神鎮静法を行った VVR の既往患者を対象として、麻酔管理方法、周術期の VVR 発現の有無、対応を調査することで、VVR を極力抑えることのできる安全な管理方法を検討することを目的とする。本研究により、VVR に関する最適な管理方法が明らかになれば、より安心・安全な歯科治療環境の提供の一助となることが期待される。